

## 資料1. 第2回地域公共交通推進協議会 議事概要

## 議題1. 宜野湾市地域公共交通推進協議会規約の改正（案）及び監査委員の指名について

- ・事務局より規約の改正(案)及び監査委員について説明を行い、審議を経て承認された

## 議題2. 令和4年度予算（案）について

- ・事務局よ令和4年度予算案について説明を行い、審議を経て承認された

## 議題3. 地域公共交通計画策定に向けた調査・検討の進め方について

No.	主な指摘・ご意見	回答・対応方針
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沖縄県では次年度に地域公共交通計画の策定を予定している。今年度は準備段階だが、中部広域と一緒に開催し、本協議会と連携を図りたい。</li> <li>・ 課題3に「多様な移動手段の確保」とあるが、現時点で何かイメージはあるのか。 (山里委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 沖縄県の地域公共交通計画の策定作業と連携を図りながら取り組んでいきたいと考えている。</li> <li>・ 「多様な移動手段の確保」について現段階で具体的に想定しているものはないが、今年度の調査を踏まえて次年度の計画策定において検討したい。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題の整理において自治会活動や公民館活動という視点が見られなかった。長田区のように自治会が広いと区内の移動だけでも大変な高齢者もいる。各自治会ではミニデイサービスを行っており、公民館への移動手段、自治会活動の活性化という視点からも公共交通を検討していただきたい。 (佐藤委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共交通空白地域を対象としたヒアリング調査を実施しており、調査結果を踏まえて課題を整理した。 ⇒資料4, P3 参照</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ミニデイサービスに関しては、社会福祉協議会において利用者やボランティアの皆さまを対象としたアンケート調査を実施しているので参考にしてはどうか。今後は、ミニデイサービス等においても利用者の移動手段について検討する必要がある (仲村渠委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会福祉協議会へのヒアリングを追加で実施しており、またアンケート調査結果についてもご提供いただいた。 ⇒次年度の施策検討において活用させていただきたい。</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新型コロナの影響を受けて、バス、タクシーともに公共交通の維持が厳しい状況にある。今後施策を検討する上では、それぞれの役割を活かし、十分活躍できるような形で整理していただきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今年度は課題の整理まで行う予定だが、次年度の計画策定にあたっては、十分に調整を行いたい。</li> </ul>

No.	主な指摘・ご意見	回答・対応方針
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ タクシー事業者も新型コロナの影響で乗務員不足が深刻で、また高齢化も進んでいて（乗務員の平均年齢が 60 歳後半）、稼働率も 6 割程度である。タクシー事業者には課題も含めてヒアリングを行って頂きたい。</li> <li>・ 既存の公共交通を活用してもらえような方策を検討して頂きたい。 (津波古委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内タクシー事業者 8 社に対してヒアリングを実施、課題等を把握した。 ⇒参考資料 P33、P44 参照</li> </ul>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スーパーや病院等の事業者からも、公共交通に対していくらかお金を負担していただくことは可能か検討していただきたい。 (仲村渠委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 公共交通には様々な事業者が関わっていく必要があると考えている。今後の検討課題としたい。</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 課題の分析にあたり「誰の」「どういった移動」という観点で考えるべき。特に重要視されるのは、高齢者や免許を返納した方々の日常的な買い物や通院などではないか。</li> <li>・ 顕在化している需要のみならず、潜在的な需要に対しても検討する必要がある。 (神谷委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「誰の」「どういった移動」という観点は、課題を分析するうえで必要な視点であると認識している。また、顕在的、潜在的な需要の把握や、人とモノの移動のポテンシャルについても意識しながら施策の検討を進めていきたい。</li> </ul>
8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宜野湾市において、現段階でどのような交通手段のポテンシャルを持っているのか把握する必要がある。 (神谷委員)</li> </ul>	
9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高速バスやてだこ浦西駅との連携は意識すべきである (神谷委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高速バスやてだこ浦西駅との連携についても施策を検討する上で留意したい。</li> </ul>
10	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内在住で、他市町村の学校に通う学生のデータなども確認した方が良い。(神谷委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今回の分析では対応できなかったが、今後追加でデータ収集を行いたい。</li> </ul>
11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シェアサイクルについても公共交通に位置づけていただきたい。(神谷委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シェアサイクルの利用促進も重要だと認識しており、今後の施策として位置づける方向で検討する。</li> </ul>
12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ヒアリング対象として、「観光振興協会」「西海岸協議会」「ぎのわんマリン協会」を追加していただきたい。(高里委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光振興協会事務局をヒアリング対象に追加した。</li> </ul>
13	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「東西方向の移動ニーズ」に関する課題が挙げられているが、国道 58 号につなぐような道路整備や関係機関への要望などが、現在どのような方向で進められているのか教えていただきたい。 (慶田委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 渋滞が深刻化している県道 34 号については、沖縄県において渋滞対策工事を進めている状況。</li> <li>・ 西普天間住宅地区については、沖縄県と宜野湾市、琉球大学と渋滞対策の検討を重ねていく予定である。</li> </ul>

No.	主な指摘・ご意見	回答・対応方針
14	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内の公共交通を体験したところ、タクシーを前日に予約しようとしたら、車両はあるが、乗務員がいないと言われ断られた。その後バスに乗ろうとしたら案内がわからずに、バスターミナルまで歩いてからバスに乗った。バスターミナルについても、初めて訪れる方もわかるようにインフォメーション等の改善が必要ではないか。(崎原委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご指摘の点については、観光客も同様に感じていることであり、沖縄県としても改善の必要性を認識している (沖縄県)</li> </ul>
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>介護車両等の路上駐車を取り締まりを行うと、「交通弱者を送迎しているのに取り締まるのか」という苦情が多いが、特別扱いは行わないので、こうしたボランティアの方々へ指導できないか。 (新本委員代理)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>今後の施策を検討する上で参考とさせていただきたい。</li> </ul>
16	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通とまちづくりはセットで考えるべき。拠点となるまちの魅力を高め、市民がそこに行きたくなるようなまちづくりを行い、その移動(交通)手段としてこのような公共交通が選ばれていくのであれば、おのずと公共交通の利用者は増えていくと思われる。 (當眞委員代理)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>まちづくりの視点も持ちながら施策の検討を進めていきたい。都市計画マスタープランにおける短中期の方針との整合を踏まえつつ地域公共交通計画を検討していきたい。</li> </ul>
17	<ul style="list-style-type: none"> <li>西海岸地域におけるリゾートホテルの客室数と、自動車で訪れている人と公共交通で訪れている人の割合について把握することは可能か。(神谷委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>客室数は既存データを用いて整理した。</li> <li>西海岸地域のリゾートホテルを対象として追加ヒアリングを実施した。 ⇒資料 4, P16、参考資料 P43 参照</li> </ul>
18	<ul style="list-style-type: none"> <li>市民アンケートは郵送による回答のみならず Web での回答をできるようにした方がいいのではないか。</li> <li>お住いの選択肢が行政区になっているが、どの行政区に属しているかわからない方もいるはずなので工夫が必要ではないか。 (佐藤委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>QR コードから Web で回答できるように対応した。回答票数 1, 423 票中、web 回答票数は 166 票 (11. 7%) であった。</li> <li>居住地の選択肢については、他アンケート調査との整合を踏まえ行政区として実施した。</li> </ul>
19	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの議論は主に路線バスの話だと思いが、障がい者を対象とした公共交通についても検討対象としていただきたい。 (田場委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>民生委員のヒアリング調査や自治会長へのヒアリング調査などから、必要なニーズや困りごとを整理した上で検討したい。</li> </ul>
20	<ul style="list-style-type: none"> <li>アンケートにおいて、性別の選択肢に「答えたくない」とあるが、検討が必要ではないか。 (崎原委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他の調査等では「第三の性別」「わからない」などもみられたが、他調査の事例を参考として「答えたくない」を採用した。</li> </ul>